



■hatao & nami

＜熊野古道ツアー vol.2＞(熊野市)

11月23日(金・祝日)

13:30～15:00 (12:30開場)

場所:六熊野市立 飛鳥中学校

●無料(ご予約の必要はありません)

■音楽旅人(尼崎市)

11月26日(月) 19:30～22:30

場所:Mクワトロ(尼崎市南武庫之荘1-14-20)

共演:田中峰彦(シタール)、梅田望実(ピアノ)

●2500円

■hatao & nami 自主コンサート

「ひかりのなかで」(大阪市)

12月1日(土) 15:00開演

場所:カフェ・ド・イワッコ

(大阪市旭区大宮4-14-16)

●予約2500円

当日3000円(ドリンク付き)

■アイルランドからの便り(樫原市)

12月3日(火) 12:00～(2回公演)

場所:カフェ アンジェス

(奈良県樫原市新賀町485番地)

●1200円(要予約/ランチ付き)

■hatao & nami 宗次ホール

＜ランチタイムコンサート＞(名古屋市)

12月4日(火) 11:30～12:30

場所:宗次ホール

(愛知県名古屋市中区栄4丁目5-14)

●1000円(要予約)

■hatao & nami フランスのお菓子屋さんで

クリスマス・コンサート(京都市)

12月17日(月) 19:00～

場所:フランス菓子の店 トゥレドゥー

(三条通新町角)

●2,500円(ケーキ、ドリンク、プチフルーツ付)

要予約(定員14名です)

詳細はhataoのホームページにてご確認ください。

<http://irishflute.info/live>



●東京教室【個人】【グループ】

五反田文化センター(第3水曜 13時～20時半)

●大阪教室【個人】

プログレス外語学院(第2水曜 21時～)

●大阪教室【グループ】

千里中央セルシー(第2第4日曜 10時～11時半)

●芦屋教室【個人】

芦屋駅から徒歩一分の貸会場

(第4木曜・第4土曜 10時～17時)

●京都教室(西川先生)【個人】

hatao自宅(お問い合わせください)

●京都教室【グループ】

コイズミ楽器(第4日曜 14時～15時半 月4回)

●和歌山教室【グループ】

(不定期 土曜か日曜 14時～15時半)

●奈良教室【グループ】

大和八木ミュージックカフェ アンジェス

(第1月曜 10時～12時 うち1時間)

●名古屋教室【グループ】

中日文化センター 名古屋市栄校(第2・第4金曜 13時～)



「ひかりのなかで ~Light in winter~」



こんにちは！ケルトの笛のhataoです。9月、10月と毎週のようにツアーをしており、ついに「ケルトの笛だより」を発行することができませんでした。

楽しみにして下さっていた方(がいたらいいな)ごめんなさい。この通信は、ケルトの笛の普及と、hataoの活動の紹介のために、2か月に1回のペースで発行します。のつもり…

本号が今年最後の発行となります。どうぞ、ごゆっくりお楽しみ下さい。

■東海～関東ツアーに行ってきました

9月の中旬～10月にかけて、ハーブの上原奈未さんと、毎週末ツアーをしてきました。愛知県豊橋市に始まり、静岡県浜松市と三島市、東京都と東に少しずつ足をのばしました。

豊橋では町工場を改装したプライベート・ホールでコンサート。社長が音楽大好きで、手作り感あふれるコンサートでした。

静岡県では台風が襲われ、浜松から三島までの高速道路の運転でハラハラしながらも、晚には中秋の名月を眺めることができました。

東京では、品川の音楽ホールでグランド・ピアノでのコンサート。奈未さんとのコンサートは実に4年ぶ



りで、ずっと東京のみなさんに聴いてほしいと思っていたので、願いがかなって嬉しかったです。各地の皆さま、また来年、お会いしましょう！

■hatao & nami ミニCD “しずかな森の音じかん”を発売

ツアー先でお客から2人のCDを求められることが多く、急ぎよ販売することとなりました。ケルト各地の伝承曲3曲とオリジナル2曲の計5曲を収録、500円で販売しています。



hatao & namiホームページからご注文ください。試聴もできます。

■hatao & nami 2012年最後の自主コンサート「ひかりのなかで」



大好きな曲を、自分たちらしく演奏し、お客様と音楽の素晴らしさを分かち合う、それがhatao & namiのコンセプトです。今年、熊野、名古屋、関東と、二人であちこちに出掛けて音楽を演奏することができました。どのコンサートも大切な思い出となる素敵なものでした。



そんな感謝をこめて、一年の最後を飾る自主コンサート「ひかりのなかで」を、12月1日(土)にグランドピアノがある大阪のカフェ・イワコさんで開催することになりました。寒い冬に心温まる、素敵な時間を演出します。詳しくは、コンサート予定をご覧ください。

■レーシック手術を受けるかも!

ゲームのやりすぎで子どものころから視力が悪い僕。中学まではメガネっ子、高校からはコンタクトレンズを装着しています。去年の東日本大震災では、もし地震の時にコンタクトレンズが手に入らなければどうしよう、と思ったものです。来年、自転車で国内旅行をしたいと思っており、

思い切ってレーシック手術を受ける決意を固めました。ちょっと怖いですが、先生を信じています!

■ティン・ホイッスル教本のシリーズ第二集を執筆中

前作「地球の音色」から実に4年の歳月が流れました。いまでも多くの方からご注文頂いている教本ですが、いよいよシリーズ第二集の執筆も大詰め。普段仕事をしながらではまとまった時間が確保できないために、北海道の実家に2週間こもって、缶詰状態で原稿を書いています。受験勉強をしていた10代のことを思い出します。来年の春頃に発売できればいいな...と思っています。どうぞ、お楽しみに!



《ケルトの笛話》第3話「ウルトラ怪獣?いいえ、楽器です。その名もピブゴーン」

イギリスの西部に位置するケルトの地域、ウェールズ(Wales)。ケルトのイメージにふさわしい、緑の丘と深い山々の美しい土地です。

ウェールズはケルトの地域の中でも16世紀という比較的早い時期にイングランドに併合されてしまったため、イングランド化が進んでいますが、言葉は遅く生き続けています。今でも多くのウェールズ人がウェールズ語を理解し、日常的に会話しています。ウェールズ文化はイギリスの中の異文化なのです。

そのウェールズの文化復興の象徴ともいえるのが、民族楽器の数々。古代のフイドルであるクルース、ウェールズのバグパイプ、そして、今回紹介するピブゴーン(Pibgorn)です。

ちょっと聞くとウルトラマンの怪獣のような名前ですが、音色も怪獣の鳴き声のよう!見た目はいわゆる「つの笛」で、水牛の角をくりぬいたものが先端についています。本体は木でできており、クラリネットと同じ枚のリードが刺さっています。リード楽器ですので、当然音量は大きい!ウェールズの誇り高い堂々とした音色を響かせます。

ピブゴーンは中世からウェールズで使われていましたが、イングランドの併合により民族文化が廃れ、19世紀には演奏者が途絶えてしまいました。

20世紀末に再びウェールズ文化への関心が高まり、古い楽器をもとに復刻され、今ではCDでも聴くことができます。

僕も去年のウェールズ旅行で、地元の名人のケリ・マシューズさんに借りて吹かせてもらいましたが、海辺で吹くとどこまで響くようで、すーっと気持ちよくなりました。

お客様から注文があり、このたびウェールズのメーカー、John Glenyddさん(綴りがいかにもウェールッシュ!)のピブゴーンを入荷することになりました。国際電話で注文するのはドキドキでした☆D管、音域は1オクターブ。12月に入荷予定、在庫1本のみですので、ご予約お待ちしております。



こんにちは、ケルトの笛屋さん店長の淳平です。涼しさを通り越して、寒くなってきましたが、風邪などひかれていませんか? ぼくは夏の間中、ぐったりしていたのですが(暑さに弱い)、気温が10度台になりようやく復活! 元気になったところで「何か新しいことをはじめてみよう!」と思い、色々考えた挙句、なぜかドラゴンクエスト(ファミコン版)を始めました。笑 一度もRPGをやったことがなかったので、いまいち勝手がわかりませんが、スライム相手に地道にレベルを上げている今日この頃。気づけばラダームの哀しげな旋律を口ずさんでいます。

好評いただきました「ざっくりしたケルトの歴史」がひと段落し、良い頃合いで全部忘れてしまった感じなので、新たにケルト関連の本を借り、のんびりと勉強中です。また何か書ければいいな~と思案中です。

また、新コラムとして数年前に2回ほど行ったアイルランドの旅行記を書きたいと思っています。(今年中にはスタートする予定です) 先日読んだ小説の文体を丸まバクった不思議な感じのコラムにする予定ですので、ぜひともチェックしてもらえれば嬉しいです♪

■ケイシー・バーンズのフォークフルート新入荷

これまで練習用のフルートは、ハミー・ハミルトン(通称ハミハミ)のアルミ製フルートのみだったのですが、今回ケイシー・バーンズさんの木製(柘植 or 黒檀)フォークフルートを新たに入荷しました!

おすすめのケルトの笛



ケイシー・バーンズ フォーク・フルート

アメリカで30年以上、アイリッシュ・フルートを製作している職人さん、ケイシー・バーンズのフォークフルートです。アイリッシュフルートの練習用に最適で、手の小さな方向けの「指幅・小」というタイプもあるとても良心的な楽器です。見た目も鮮やかな柘植製のものと、はっきりした音の輪郭が特徴の黒檀2種類と指幅の大小の、計4タイプで絶賛発売中です♪

このフルート、めちゃくちゃ音がいいんです。ほんとに、びっくりするくらいいい音が鳴りますが、値段は通常のアイリッシュ・フルートの半分くらいということもあり、人気高し。10月末に再入荷しましたので、動画も含めてぜひ一度ご覧ください!

■高級感ただよ木製ロー・ホイッスル

柘植のティン・ホイッスルでおなじみ、スウェインおじさんの木製ロー・ホイッスルを入荷しました。ひと吹きするだけで、中世ヨーロッパにタイムスリップしたような独特の音色は格別! とりあえず鎖かたびらとか鎧を着て、馬に乗りたくなることうけあいです。

■楽器のメンテナンスページができました!

「楽器を買ったけど、メンテナンスをどうすればいいかわからない」という方も多いのではないかと思います。そこで、ホイッスルとフルート、それぞれのメンテナンス方法を紹介する動画を作りました。また、メンテナンスに必用なグッズの紹介、メンテナンスキットの販売もはじめました!

celtnofue.com/maintenance.html

■輸入代行ページが充実!

輸入代行のページに、メーカー別の特設ページを作り、様々な種類の楽器やオプションの値段表も掲載しました。また北欧のたて笛「シー・フルート」「アスピバ」「モナルカピバ」という楽器は紹介ビデオも作成。北欧感ただよ独特の音階や、hataoさんの演奏も含めてとても魅力ある楽器なので、北欧好きの方は、ぜひ一度チェックしてみてください。